



つばめぐみだより

令和4年6月24日(金)

津田このみ学園

雨が降ったり気温が高くなったり、天気が変わりやすい季節になりました。夏野菜は雨のおかげでどんどん大きくなり、スイカやパプリカには実がなりだしました。「あかちゃんスイカができてる〜!」「パプリカ大きくなってて!」と、夏野菜の生長を喜び、収穫を楽しみにしています。

またお部屋では、カタツムリ、カブトムシ、メダカ、カイコを飼育しており、エサをあげたり飼育ケースの掃除をしたり、子どもたちが積極的にお世話をしています。生き物が成長して変化していく様子には不思議がいっぱいで、毎日ワクワクしながら観察しています。そんな生き物と関わる子どもたちの様子を紹介します。



たまごの殻を食べるの!?

畑でカタツムリを発見!「カタツムリは何を食べるんだろう?」と話す中、5歳児のAさんが調べてきてくれました。ニンジン、キャベツ、リンゴ、バナナ、など色々な食べ物の名前が出た後、「たまごの殻も食べるんやって!」というAさんのお話に驚く子どもたち。次の日、子どもたちがお家からカタツムリのエサをたくさん持って来てくれました。たまごの殻もあげてみると、カタツムリが殻を食べ始め、「ほんまにたべるんや!!」と嬉しそうにじーっと食べる様子を観察していました。



カブトムシが出てきた!

サナギになり土の中で眠っているカブトムシ。ある日4歳児のBさんが、「カブトムシが出てきてる!!」と教えてくれたので見に行くと、立派なおスのカブトムシが出てきていました。「すごーい!」「だんだんサナギの色が茶色になってたもんな!」「かっこいい!出てきてよかった〜」と、カブトムシが成虫になった喜びを共有する姿が見られました。このカブトムシに『ケミール』という名前をつけて、ゼリーをあげてお世話しています。



カイコがおおきくなってきた!

つばめぐみにカイコがやってきて約1カ月が経ちました。1センチメートルにも満たなかったカイコはどんどん大きくなり、エサの桑の葉をあっという間に食べてしまいます。時間が経つと、桑の葉がパリパリになってしまうことに気付いた5歳児のCさん。「これ美味しくなさそう」とつぶやき、「ほんまやな〜」「パリパリの葉っぱは捨てて新しい美味しい葉っぱを入れてあげよう!」と、友達と一緒に古い葉と新しい葉を取り換えたり、糞を捨てたりし、カイコの部屋をきれいにしていました。

カイコがお腹を空かせないために毎日2時間に1回エサをあげよう!と集まりで話し合い、ホワイトボードにエサをあげた時間をチェックしながら、カイコにごはんをあげています。「もうカイコのごはんあげた?」「ごはんあげたからマルかいとくね〜!」「畑でカイコの葉っぱ取ってきたよ!」と、友達と声をかけあってお世話をし、小さな命を大切にしている優しい姿が見られます。



担任の福永裕菜が三宅分園りす組に異動になりました。7月から増藤、甘崎に加えて新しい職員が配属になります。